

南三陸町のこれまで、これから

南三陸町商工観光課  
佐藤 宏明



# これまでの南三陸町

# 生活基盤・交通基盤の充実



**志津川  
インターチェンジ  
(H28年10月30日)**

**さんさん商店街  
(H29年3月3日)**

**ハマーレ歌津  
(H29年4月23日)**

**歌津  
インターチェンジ  
(H29年12月9日)**

**南三陸海岸  
インターチェンジ  
(H29年3月20日)**

# さんさん商店街



- 2012年2月25日に仮設商店街としてオープンした”さんさん商店街”が高台の造成地、国道45号線と国道398号線が交差する志津川地区に本設としてオープン。
- 南三陸杉を使用した平屋6棟に、飲食8軒、生活関連7軒、鮮魚店5軒、菓子3軒、理美容2軒、葬祭関連1軒、コンビニ1軒、産直施設1軒、計28店舗で構成。

# ハマーレ歌津



- 南三陸町歌津地区に2011年12月13日にオープンした“南三陸町歌津伊里前福幸商店街”
- 2017年4月23日「ハマーレ歌津」の新名称として本設オープン。
- 「はまる」「浜」「マーレ」を掛け合わせた造語。  
はまる: 「仲間になる」という意味の方言。  
浜: 三陸特有のリアス式海岸の光景を表す、いくつもの「浜」が連なった地であること。  
マーレ: イタリア語で「海」を表す「マーレ」。

# 他の本設

## アップルタウンのオープン



## 個店の本設オープン



# 観光資源の復興



- 震災により閉鎖されていた「サンオーレそではま海水浴場」が7年ぶりに再開。約20,000人の来場者が夏を楽しんだ。

これからの南三陸町

# 町が抱える課題

防災集団移転に起因する新たなコミュニティの再構築

人口減少を補う移住定住・交流人口の拡大

創業支援による起業家の育成

# 応縁団事業の発展

## 個人団員同士の連携の強化

南三陸町から離れた地域で団員有志が集まり開催されるイベントなど各地で実施されるおでって活動

■岡山県の団員による  
「ミニミニ福興市」「いぐすぺ南三陸の開催」



■東京都の団員による  
「世田谷パンマルシェへの出展」



開催支援として、南三陸応縁団事務局から南三陸町ノボリや、物産品の発送、応縁団ビブスの貸出を行う。

# 応縁団事業の発展

## 登録企業との連携の強化

### 連携事業例

NEC:南三陸町との復興連携協定締結。福興市などへの継続支援。

トヨタ東京販売ホールディングス(株):おでって受け入れ先の「恋人岬プロジェクト」との連携。希望の鐘を設置予定。



この他にも多くの登録企業様におでってに参加いただいている。

今後もプロジェクト系おでって受け入れ先を中心に、より多くの登録企業とマッチングし、継続的な連携を目指す。

# 応縁団事業の発展

## これからの交流イベント

先述の団員同士の連携強化に繋がる。

町民と団員が集う大規模な交流イベントの他に、団員同士が集って開催される、

小さな同窓会のような交流イベントが多数実施されるようにする。

この開催を応縁団事務局がバックアップする。

そのためには団員同士が知り合い、縁を育む。

その場となるのが今日のような南三陸応縁団交流イベント。